

市民意識調査から見た北見市長選挙結果

神田孝次前市長の辞職に伴う北見市長選挙は、

二〇〇八年一二月一四日告示、二一日投票で実施された。結果は、小谷毎彦（つねひこ）氏（民主・社民・大地推薦）が三万五三二八票（得票率52.8%）を獲得。再出馬した神田孝次氏の三万一五六三票（同47.2%）に二七六五票の差をつけて勝利し、初当選した。しかし投票率は65.25%と前回を4.19%下回り、過去最低となつた。

北海道地方自治研究所は、この北見市長選挙に関わる市民意識を知るために、告示の一週間前（七日）に、山本佐門教授（北海学園大）と共に世論調査を実施した（回収したサンプル数は四五七件）。以下は、その概要とコメントである。

潜在化・肥大化していた神田市政批判

①北見市では、一昨年一月のガス漏れ事故で三人が亡くなり、六月の断水事故では六万世帯の生活に大きな影響を与えた。この原因と処理をめぐつて、かねてから、神田市長に対する批判が根強く存在していると考えられていたが、今回の市民意識調査でもそれが裏付けられた。

Q 「神田市政に対する評価」では

・満足している
19・5%

・不満である	37・4%
・どちらとも言えない	42・7%
・満足していない	20・8%
・どちらとも言えない	42・7%
・満足している	19・5%

・これまでの市政の継続	25・6%
・新しい市政の実現	47・3%
・まだ分からぬ	26・0%
・反対	31・5%
・分からぬ	27・8%

・商業ビル（旧北見東急）への移転について	39・6%
・反対	31・5%
・賛成	39・6%
・反対	31・5%
・賛成	39・6%

・都市再生計画	17・1%
・医療問題	17・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

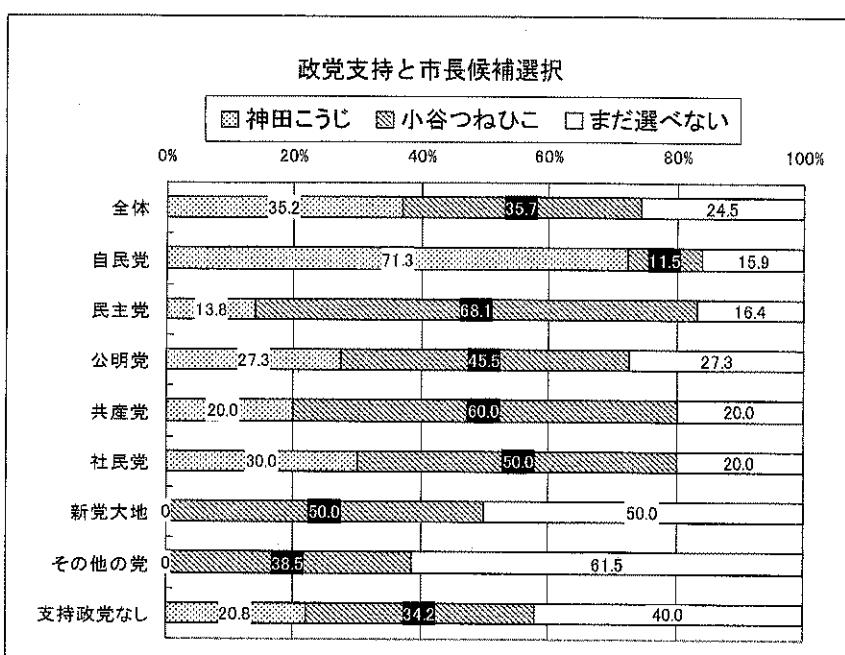
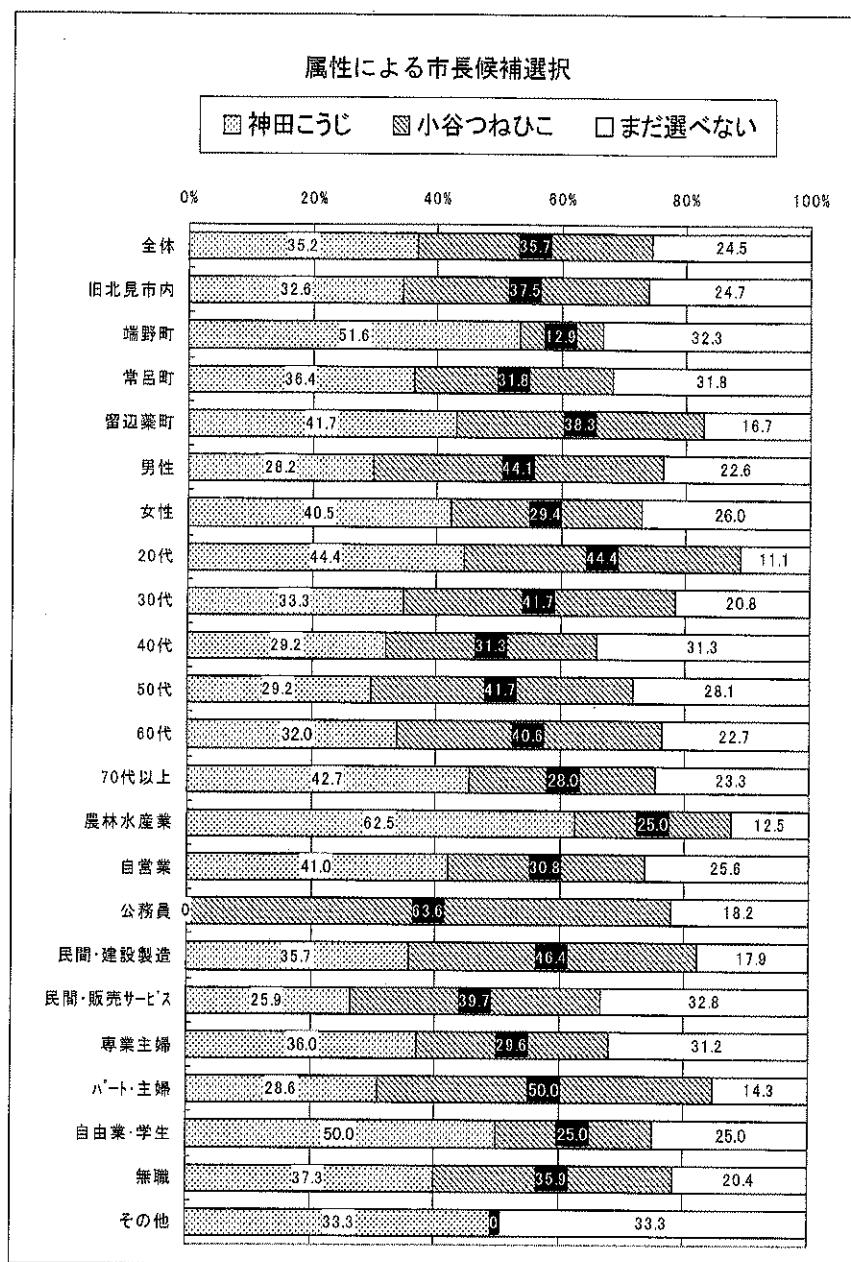
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%

・これまでの神田市政のあり方	51・9%
・その他	5・9%
・その他	3・1%
・これまでの神田市政のあり方	

「民意のねじれ」は小谷氏勝利に

一月十九日に小谷氏が出馬表明し神田・小谷という対決構図が出来た。二月七日の世論調査では、左図にあるように、小谷氏が35・7%、神田氏が35・2%というきわどい調査結果が出た。

地域では旧北見市内で小谷氏が優勢、性別では



男性が小谷、女性が神田に傾斜。年代では七十代以上で神田氏が優位だが、それ以外では全般的に小谷氏優位。職業別でも農林水産業、自営業、経済の中心を担う職業層では小谷氏が優位。政黨支持別でも、神田・小谷両氏は自民・民主の約七割を固めたが、小谷氏は共産・社民・大地支層の他に、公明支持層にも食い込み、無党派層では10%以上の差をつけていた。これを見る限

りでは、小谷氏の支持基盤の安定感と、選挙戦を通じての支持拡大の余地が予見できるものだった。

神田市政三期に対する市民の批判が多いにもかかわらず、一方で現実の争点提示では神田氏に有利に働くという「民意のねじれ」を制したのは、結局は小谷氏であった。

※左図では無回答を略。
 (まとめは編集部・中島章夫)

※左図では無回答を略。
 (まとめは編集部・中島章夫)